

『新築・駅チカ・百合ヶ丘姫あり〼』

初稿台本

●トラック1 プロローグ

//SE 町の図鑑

大都会・東京……の、新宿から、電車で西に40分。

小さな駄かで徒歩5分の「JKのアパート」が私の最初のお城となつたまあ、田舎娘の私からすればここも十分都会だけどね♡

12
//SE 電子回路
f.o.

//SE 段ボール片付ける音

16

M

私の名前は 桂木 ゆい
小さなころから優等生、 気が付けば大人になつていた系
地味目女子な私だけど、

市做の「N」たゞ良優にたてたるた頃
いよこちの繩を古くぬぐふ上原コレはせかづ

23 わくみたいたる敵
24 いや、女優もこじらねー!

「明日から養成所か……緊張するなー！」

M

28 だかじ……ふじへ。ねむのじたが眞上なつてこぬじかあひて……。
29 今田かじのぬ、いのね船屋のじだ。

本当にいいお部屋。

北向はいいお部屋
駅チカだし、南向きで、日当たりも、最新の設備にリフオーム済みだし、見晴らしもいいし、
~~サ~~^サばい

34

どうして家賃1万円で済むんだろう……?

東京のお部屋こですこへ贏ひて聞いてたけど……
なにか……あるのかな?

Y

「（あぐび）ふあ……まあ、いいか。引っ越してクタクタだし、もうダメ……寝よ！」

この素敵なお部屋の、最高で最高のユリイフを……

このあと、私はすばり思い知ることになるのだった……。

ツク2 壁観点（ゆいのモノローグ 聴こえる）

● 112

//SE
//SE
夜の雰囲気

卷之三

「ダメだ……初めて一人ぼっちの夜だから

なんか、緊張して眠れないよね……

どうしよう、明日大事な日なのに……。

あ、そういうと自分でシテからなり……コラックスして眠れるかな。

〔ADNOVA〕

荷物ガサゴソ//SE

卷之三

「確か……この辺に入れたようなん……んー……。あつ！ あつたー！」

#(ハツシーナン) 吸(ヒヤツ) 買(カヤ) 二たんだよね
ニニは一せば二立のよこい.....

//SFE パシフィック・リビング

卷之三

69

70

「(蜜♂AD) ニコニコ。うう……ハイシナかな」

71

//SE エルムの声

72

「ねえ……、棒の方はお」こだわりの声。

73

「んなの入れて大丈夫なのかな……」

74

MX わ、吸い口にたまにむか、おじい吸ひ方。これで吸われたやつだい……

75

えへへ、ミサドキシトセバ。

76

んぐ、棒ごからしつかの震ひがれだよ……。

77

じのねばか……棒の方……クツヒおいて、みゆ~」

78

//SE エルムのヤクコロ声

79

「ええ……」
あ、ね、ね……うへ、う……んへ、

80

うねぬ、揃ひ……揃ひ……うへ、うへ……うへ、うへへへ……

81

う……あ、ね、う……うへ、う……うへ、

82

……せぬせぬ、うわあ、ぬよつと強こなあ……

83

でも……くへ、あぐりしょわしょわになつたやつた……。

84

この棒をこれで、穴をクリに吸わせればこうだよな……。

85

ん……入るかなあ……」

91

//SE バイブ入れの声

92

「……ううううー／＼ぬ、や、じれ、意外と太……、いー、

93

ン……んんり……うぬ、ぬ、……せこ、つた……。

94

で、うじしゃくつ……」
あ……。わへ……。おい……。うへ、こここへ、んんんんんん……

95

あ……あ……おつり……うへ……。ぬぬ……。ぬあああ……あ……

96

あ……おつり……うへ……。ぬぬ……。ぬあああ……あ……

97

あ……。わへ……。おい……。うへ、こここへ、んんんんんん……

98

あ……あ……おつり……うへ……。ぬぬ……。ぬあああ……あ……

99

あ……。うへ……。ぬ……。ぬあああああ……。

100

あ、わの聲バイブル……ぬあああ……。ぬああ……。

101

イ……イ……クハカ……。ぬあ……。

102

(締頂) エヌ……ぬ……ぬ……。

103

（締頂） エヌ……ぬ……ぬ……。

（締頂） エヌ……ぬ……ぬ……。

104

105 ハセキ——、ハセキ——、ハセキ——.....
106 エヘ、エヘ、ダメだいじで強制的だよ。やがてこ.....
107 えいれ、長々ハガタのソーヴァーんだかねえ.....」

109 //SE バイオ相撲バトル

110
111 ハテヌヌヌヌヌヌ——、エヘ、ハセキニニニ——、エヘ、エヘ、エヘ.....
112 エヘ、エヘ、ハセキハセキレ.....」ハヘ、ハヘ、ハヘ.....
113 ハヘ、エヘ.....、エヘ.....、エヘ.....、エヘ.....、エヘ.....
114 エヘ.....、エヘ.....」ハヘ、エヘ、エヘ、エヘ.....

115

116 ハヘ.....、エヘ.....、エヘ.....、エヘ.....、エヘ.....、
117、エヘ.....、ハヘ.....、體力、體力.....、體力.....、
118 ハヘ.....、エヘ、ハヘ、ハヘ、ハヘ.....、
119、エヘ.....、エヘ.....、エヘ.....、エヘ.....、
120、エヘ.....、エヘ.....、エヘ.....、エヘ.....、
121、エヘ.....、
122 ハヘ、ハヘ、ハヘ、ハヘ、ハヘ、ハヘ、ハヘ、
123 ハヘ、ハヘ、
124 (縄脇) ハヘ、ハヘ、ハヘ、ハヘ、ハヘ、
125 ハヘ、
126 エヘ.....、エヘ、クル.....、な.....、あいこ.....、
127、エヘ.....、エヘ.....、ハヘ、ハヘ.....、
128 クル、ハヘ、ハヘ.....、エヘ.....、エヘ.....、
129 エヘ.....、エヘ.....、エヘ.....、エヘ.....、
130、
131 ハ、セ.....、エ.....、エヘ、ハセキ、ハセキ、ハセキ、
132 エヘ、ハセキ、ハセキ、ハセキ、ハセキ、
133 (縄脇) ハセキ、ハセキ、
134

135 初めての横浜の夜、初めての東京だよ、最初はアラカルト。
136 私せじの横浜ヤキ疲れて、この東京に監つてつまつた.....。
137
138
139

140

141 //AD もこの際 「マ一……マ一……マ一……」

142 //SE ピンチの時 「マ一……マ一……マ一……」

143 144 //SE ピンチの時 「マ一……マ一……マ一……」

145 146 //SE ピンチの時 「マ一……マ一……マ一……」

147 148 //SE ピンチの時 「マ一……マ一……マ一……」

149 150 //SE ピンチの時 「マ一……マ一……マ一……」

151 152 M やはり、うだ……金縛の二

153 私、金縛の二にやがれたりしかばれども、初めにやがれ……

154 155 M ↑ 「(やがれAD) ……う、……う、……う、……う、……う、」

156 157 158 M ……わいー、金縛の二にやがれたりしかばれども、金縛の二にやがれ……。人の金縛……。

159 誰か……誰かこねー

160 161 M ↑ 「(金縛の二にやがれAD) ……」

162 163 M 横が田たかー、うわ、金縛の二にやがれ……。横たかー。

164 165 M やだ、金縛……やだよだよだー。

166 167 M ↑ 「(金縛の二にやがれAD)」

168 169 M //SE 金縛

170 171 M わいー、金縛の二にやがれ……。

172 173 M //SE 金縛

174 175 M やだ、金縛の二にやがれ……。

→ 「(黒で)いつものを複数のAD)」

18

「(細水のやつなーい匂いが翻る) ぐんぐ」

100

卷之三

え? お、いい匂い。これ、ローズの香水の匂い? 183

それに……この感触、紙い指……

「…………」

□ノクハノ一の幽靈たる。 うる人……女。 女の幽靈た

188
二。對二。對一。對三。對四。對五。對六。對七。對八。對九。對十。

一八九

190

191

192
冷たい指先が触れていたい……。じりじり……。

193
こんなに私の身体撫でまわして……向してねんだ

۱۸۵

「分かった！ 私の身体を乗っ取る気だ！」

佐の心地の良い身体かどシカ語ノ一るノ才

198
二二二（中圖書出版社）一標題

199

200

201 もんみたいな素敵な趣優もん!!……

いや、女優さんになりたいんですね！」

だからお願い、私の身体……乗っ取らないで……！」

2005 | (無) L'ANNEE ADJ

206 //SE 衣擦れ

210

212

- 249 ノ
250 ねねへ、肺腫のつゝわればがひのうへとこかかへてかふせんじゆる……。
251 しの人、女の人なのになんでいそはうこしゆるの……。
252 私が感じやあこ肺体が燃焼つてゐるのたま。
253 私の肺体燃の延つて、このこの燃つてやうなのがな……。

254
255 ↑「わやへ……へへへ……ひね、ね、あね……、ね、ひ……ね
…、ひへー、ねねねね、ねね……ねへーへ……、へ……へーへ……、
ひ、ねねねねーね……ねねーへ……、へ……ねね……ねねへへ……、
ひ……へへーねへー、ねね……ねね、ね……ねへーへ……、へ……
ひ……へ、ね……ねーねねーねね……、へ……へ……ねねへ……」

256
257
258
259
260
261 //SE 肺腫喘の音
262
263
264
265
266
267
268
269
270
271
272
273
274
275
276
277
278
279
280
281
282
283
284

320 ■ ゆいの部屋

T7C

۳۲۲

323

「確かに、事故物件ではないか……ね。」

リスの香水の香りがしたから、ハテは嫌いじゃないでしょ?】

۲۰۳

おれとお絹音は夕かさないことにした

۲۳

३०

331

۲۳

//SE スマホ調べる音

334

一々々々たゞ一ツとか出でこなしかな

337

方を前に吉の筋田方東しの方

339

340
ノルマニヤの政治小説

341
……しかし、他の筋肉なんでもいいから、
筋肉それだけのところは？

342
（トキを照らすやうな）ベ——、

343
……へへ、あんまり効果がある氣しないなあ……

ii

あれもシカクな腰痛 痛むも早いかたに早く寝たくなり

347

348
349

四

○五一

「おや、おおなじい、
おおなじい、おおなじい、

卷之三

354

୧୮

356

「...」 いはく...おの昔に 朝...
「...」

357

(朝雲ソルヌ) そや...そや...ソウイ...ソウイ...朝雲ソ...ソ...
「...」

358

(豊の世元ソルヌ) そや、そや...そや...

359

(サヘヤスル。遙かサヘ) そや...
「...」

360

「...」 そや...そや...そや...そや...
「...」

361

「...」 そや...そや...そや...そや...
「...」

362

「...」 そや...そや...そや...そや...
「...」

363

「...」 そや...そや...そや...そや...
「...」

364

「...」 そや...そや...そや...そや...
「...」

365

「...」 そや...そや...そや...そや...
「...」

366

「...」 そや...そや...そや...そや...
「...」

367

「...」 そや...そや...そや...そや...
「...」

368

「...」 そや...そや...そや...そや...
「...」

369

「...」 そや...そや...そや...そや...
「...」

370

「...」 そや...そや...そや...そや...
「...」

371

「...」 そや...そや...そや...そや...
「...」

372

「...」 そや...そや...そや...そや...
「...」

373

(和歌の口の母讃(み))

374

HHH...ソロソロソロ...
「...」

375

「...」 そや...和の母讃...母の母讃...
「...」

376

「...」 そや...母の母讃...母の母讃...
「...」

377

「...」 そや...母の母讃...母の母讃...
「...」

378

「...」 そや...母の母讃...母の母讃...
「...」

379

「...」 そや...母の母讃...母の母讃...
「...」

380

「...」 そや...母の母讃...母の母讃...
「...」

381

「...」 そや...母の母讃...母の母讃...
「...」

382

「...」 そや...母の母讃...母の母讃...
「...」

383

「...」 そや...母の母讃...母の母讃...
「...」

384

「...」 そや...母の母讃...母の母讃...
「...」

385

「...」 そや...母の母讃...母の母讃...
「...」

386

「...」 そや...母の母讃...母の母讃...
「...」

387

「...」 そや...母の母讃...母の母讃...
「...」

388

「...」 そや...母の母讃...母の母讃...
「...」

389

「...」 そや...母の母讃...母の母讃...
「...」

390

「...」 そや...母の母讃...母の母讃...
「...」

391

fatigue lip tip

OB
う
ぐ

んじゅるり、さわさわ、ひきひき、ひよひよ、せあせあ、んじゅる、ぬ、
千鳥れひやせび……ひそひそ、吸はれてやうやう……ううう……

//SE 身体を動かす衣擦れ

「(舌が離れる) んなー……あ、あ、あ、あ、なん、で……

「ん、な……ねつとりキスばっかり……」

//SE 乳首触る衣擦れ

「んんっ！ ああ、ああ…っ！ やあ…、んんん…！」

ま、たつ…乳首責め…!? あ、あ、ああう、
ん…ね…ね…、國み上…ばがい…露地…憂…ソーパンシキリ、

つ……はああっ！　だめえ……あああ……布擦れて……はっ……ああ、ああっ、あ

おお……思し過ごたやああ……一　あ……ああ……
つづ……！　あ……！　う……ん……！　つ……！　は

ああ……は……ああああつやぬ、て……やぬい、よおおお

(やるといつおまれる)ひう！ んんつ！

だめえええ！ あ……！ あ！ ん……ん！ ん、ん、ん、んつ……！

心ああ：んあ
ああ二！
二…二
んん！

切なく、なつちやううつ……はああ…あああああは…ああつ…あああ…あああー…あああー…あああー…んううつ!

わ、わかった……、わかったから……

//SE パジヤマをたぐい上げる衣擦れ



- 464 キヌ カツカサトス
 「んうー……んあー。健太この……」
- 465 やく、お腹、サクしたード……ひ、ひい。
 466 ね、まだ、トレスのトロヒのやつたる……
- 467 ひー。太やか、腰ひなこでいく、つかた……ここの……
- 468 ああ、呪のじたごどく、ぬ、ぬる……おは…のう、ドコや……」
- 469 //SE ペハシ越フヘハリ相
- 470 //SE ペハシ越フヘハリ相
- 471
- 472 「えいわー。や、やばいねー。
- 473 ペハシ越フヘハリ相、詰ぬなこドゾー。
 474 イウだせりわたり、わのやわのやだかう……、詰こわい相相相ー。」
- 475 //SE ハハリ相 詰
- 476 //SE ハハリ相 詰
- 477
- 478 「わいわー。殴のむやこやねー。ぬぬ、ぬう、やうやー。
- 479 ペハシ越フヘハシホテル大盛相だこー。……、ひー。
- 480 んう、うう、……、ぬ、詰こもね……。」
- 481
- 482 //SE ハハリ相 詰
- 483
- 484 「え……え……ひひひ……ひー、ひー……。
- 485 ぬぬ……ひ……。ひねー。ぬ、ぬ……ひー。ぬぬ……ぬぬぬ、
 や……ぬぬ……ぬぬ、詰越フヘ相に泣のし詰ぬがねだれぬ……。
- 486 んう、じぶうたこもね相……ぬぬ、ぬ、うう、ぬぬ……ぬぬ……
 んう、
- 487 ク、ウ……タメ……。こ……こ、ク、ウ……ク、ウ……ク、ウ……」
- 488
- 489
- 490
- 491 //SE 矢バハシペハシ越のやだれ相
- 492 //AD 監がねだれ相
- 493
- 494 //SE ハハリ相長相
- 495
- 496 キ「えぬぬー。……ぬぬ、ぬぬー。ひ……ひ……ひ……ひ……ひ、
 ぬ……ひー。ぬー、ぬー、ぬー、ぬー、んぬぬー……、せぬぬのせぬぬ
 ぬ……ひ、うう……ぬ、ぬ、ぬ、ぬ……ひ……
 こ……こ、ク、ウ、監ねねーひ……ひ……」
- 497
- 498
- 499

- 536 エキスパートー、エ、エ……。エ、入ヒトメ……。
537 つぬ、た、ニニニ……ホ、保育立ヒのどしゆおはこ……。
538 ハルハル、ヤドヨガ、ヒズバ、ナシナシの……。エヌエハ、ハル、タケハ
539 い……ドハハ……。

(エハビツサマハ) ん……。エ……。エヌヌ、エヌ、ウハハ、ウハハ、エ……
540 エハ、エヌヌ、エヌ、エヌ……。

541 私の……。マサカのことじ……。隠れなこドハハ……。エハ、エヌヌ、ウハ……。
542 エヌヌ、ウハハ……。エヌ……。エヌ……。エハハ……。

(サハヤセナカノサマハ) エヌウハ……。エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ
543 エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。
544 エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。

545 エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。

546 エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。

547 エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。

548 エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。

549 エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。

550 エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。

551 エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。

552 エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。

553 エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。

554 エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。

555 エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。

556 エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。

557 //SE 駆ヤセドリ駆ヤセドリ

558 エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。

559 エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。

560 エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。

561 エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。

562 エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。

563 エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。

564 エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。

565 エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。

566 エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。

567 エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。

568 エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。

569 エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。

570 エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。

571 エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。エヌウハ、エヌウハ、エヌウハ……。

- 572 ……イクヽヽイクヽヽイクヽイクヽイク……圖翻やるの図イク

573 (銀河) シヽベ……ノノノノニ ノノノノニ

574

575 //SE 騰登地水壩

576 //SE 窓地壩

577

578 「えねね、イシトメ……イシトメルカム……タメ……盛地なこで……」

579 「セ……地壩地……地壩——地壩——地壩——地壩——」

580

581 小し間

582

583 //SE 夜の歐風風 f.i.

584

585 「……せへー。か、身體……翻したねねー。……ん。めに搬……。」

586

587 //SE ハーシ黒ドーム搬

588

589 「いわ、ハーシ黒ドームもひたも……めいぱの搬ひゃばー。」

590 「いくく、シヽゼニカネーれたから地が破れちゃうし。」

591 「……ねねー。じねーし、地の筋肉筋れいねーし。」

592

593

594

595 「ルズはねたなこ……かー。地壩、體の縁にハーシ搬だねーが……」

596

597 //SE 夜の歐風風 f.o.

598

599

600

601

602

603

604

605

606

607

終わる

● テーマ4 調査状

608

■ ここ の 品 鮮

609

610

611
612 //SE 枝の標因版

613

614 「ねー、ねー……」
615 小瓶は腰袋を腰に巻いて来た。この腰袋は、何時もお腹の脇に付けていた。お腹の脇に付けていた。お腹の脇に付けていた。

616 お腹の脇に付けていた。お腹の脇に付けていた。お腹の脇に付けていた。

617 お腹の脇に付けていた。お腹の脇に付けていた。

618 「ねー、ねー……」
619 ~~「ねー、ねー……」~~ お腹の脇に付けていた。お腹の脇に付けていた。

620 腹袋を腰に巻いて来た。腰袋を腰に巻いて来た。腰袋を腰に巻いて来た。

621

622

623 おの田たむ、圓剛さんとの筋とお山田編や、

624 おかげで町中で腰袋の腰袋を腰に巻いて来た。

625 おなかの腰袋を腰に巻いて来た。

626 おなかの腰袋を腰に巻いて来た。

627 //SE インナード

628

629 おの田たむ、圓剛さんとの筋とお山田編や、

630 次は金縛りの腰袋が腰に巻いて来た。

631 お山田の腰袋を腰に巻いて来た。

632 おなかの腰袋を腰に巻いて来た。

633 おなかの腰袋を腰に巻いて来た。

634

635 「ねー、ねー……」
636 「ねー、ねー……」
637 「ねー、ねー……」
638 「ねー、ねー……」

639

640 //SE 腹袋を腰に巻いて

641

642

「ねー、ねー……」
「ねー、ねー……」
「ねー、ねー……」
「ねー、ねー……」

643

キベヤだばからいねのせこ欄のいだれ

//SE 鳴鑼の音

//SE オイヨコ召の音

647

「(ナヘ) わうへ……えへへ……のせ、 んへ……むおおへ、

ゆ田……ゆ田……えしゅねへ、 るいのこす……のせ、 も、 むちう……

城掛のめぐつて振べて……腰ひらいたせ、 め

……えりへ、 えりへ……のせ、 も、 も……

652 わだ、 こ……やくたんのやこたなこじが……ぬへ、 め……

653 エヌウハ……えじきゆゑ、 ゆきゆゑ、

654 エヘ……一 エヘセコの狀うせ……れ、 た……むきせのきせつせつ……

655 あゞ、 鹿づねやへ、 かのね……んおおへ」

656 //SE クコ責の水韻

657 り
658 「んおおへ、 クコの先のきいのうじはこ、 ド……いへ、

660 ……へ、 いへは、 めめ……めー……おね、 えおねへ、 めめへ、

661 エヘゼコヤクつわ先のせせつかのこじぬいだり……

662 んんりぬ……おおへぬ……ぬ……ぬへ、

663 れ、 いへ……トシトナお太でしはの回れたこじねへ、 いへ……い……

664 も、 タメ、 エヌ……ぬへ、 クコ…放縦こじシロハコフミヤ……タ、 エ

665 ……えへ、 んはぬへ、 ……えへ、 も、 も、 も、 エヌへ、 エ……

666 も、 エヌ……へー、 へー、 んは、 エヌ…エヌ…へー、

667 も、 わ……いにまく……こくね黙ひじや、 はこへ……のけ……シ

668 んねへ、 も、 圖翻ひえへー、

669 //SE クコ責のが入ぬ水韻

670 り
671 19 「えねいへー……めへ、 めへ、 も、 も……なはへ、 りは……

672 めも、 回入れいへー……のへ、 エサカのやへ、

673 エゼウハ、 エレ……えここへ……くねへ、 シ……

674 ジ、 えだの……入り……た、 こ……めれ……えくえくへ……

675 エヌいへー、 エヘー、 エヘー、 エヘー、 エヘー……

676 //SE クコ責の水韻

- 715のせめー.....のせめー.....のせめー.....のせめー
716 圖翻れこ.....トシたかい.....しれ、振こて.....」
717
718 //SE 振く水細
719
720 「えせぬー。おお、ダメー.....お、おうおう.....」
721
722 //SE 入れぬ細
723
724 「えぬおおおおー 二眠れぬこ、でんげー.....」
725
726 //SE おうおう入れたの丑つたう
727
728 「えいいいー。.....がせ、囃.....おー、おたのす.....おー.....」
729
730 (振V) おせぬおおおー..... えいいいー。おまきおおー.....おー。
731 (入だN) おせぬー。
732 や、おおおお、おおおお、おお、お、お、お.....おおおお、
入れたり抜いたりしたひ.....だ、だぬぐれ.....
733 おおお、おお、おらおおおお、おおお、おおお、
おおお、おお、おおおお、おおお、おおお、
734歌ひ.....歌ひや.....歌ひのこ.....おひをひ、足ひなひひ.....
1じ2じ3じやの.....足ひ.....なこ、おおひ、1じ1ひ、おたひひ.....おひ、
735 おお、おお、おせぬおお、おおおお、おおお、お、お、お、お
736おおお、おおお、ダメダメダメ.....えいいいー.....」
737
738
739
740
741
742
743
744
745
746
747
748
749
750

21

LOVE

